

岸和田市幼保こ小接続カリキュラム ～知・徳・体 調和のとれた人づくり～ 第1版 令和7年3月

幼児期（5歳児 アプローチ期）

知識及び技能の基礎

【気付きできるようになること】

- ①自分の健康に関心を持ち、感染症の予防に努める。
- ②遊びや生活の中で、数、図形、文字等に興味・関心をもつ。
- ③絵本や物語、経験したことを通して、言葉の美しさや面白さに気付く。

思考力、判断力、表現力等の基礎

【試し・工夫すること】

- (1)身近なものに関わり、考えたり、試したり、工夫したりする
- (2)遊びに必要なルールやきまりを自分たちで考える。
- (3)友達との言葉のやり取りを十分に行い、互いの思いを伝え合う。

学びに向かう力、人間性等

【やってみたいこと・頑張ること】

- ①新しいことや疑問に思っていることを知ろうとする。
- ②相手の伝えたいことを理解しながら聞き、遊びを進める。
- ③共通の目的に向かって役割分担をしたり、協力をしたりして、みんなでやり遂げる喜びを味わう。

小学校入学時の子どもの姿

- ①朝食を食べて登校する。
- ②自分の名前や身の回りにある文字や数字を読んだり書いたりする。
- ③絵本や物語を聞いたり読んだりして、イメージを膨らませ、言葉で伝える。

- (1)生活や遊びの中で、経験したことを生かす。
- (2)小学校のルールや交通ルールを守る。
- (3)困ったことや分からないことを言葉にして周囲の人や友達に伝える。

- ①新しいことや苦手なことにも挑戦する。
- ②友達に関心を持ち、自分から話しかける。
- ③自分の力で行うために考えたり、工夫したりする。

1年生（スタート期～7月ごろ）

知識及び技能

【何を知っているか、何ができるか】

- ①時間割やチャイム、時計によって、見通しをもって行動する。
- ②自分の名前が書け、10までの数の意味や順番が分かるようになる。
- ③言葉のもつリズムやくり返しの面白さを感じながら読む

思考力、判断力、表現力

【知っていること・できることをどう使うか】

- (1)知っていることや学んだことを使って、自分の考えを表現する。
- (2)様々なルールを相談しながら決める。
- (3)困ったことや分からないこと、新しいことなど友達と相談しながら、問題を解決する。

学びに向かう力、人間性等

【どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか】

- ①疑問を持ち、調べたり、考えたりする。
- ②自分の思いや考えをクラスの友だちに伝える。
- ③クラスの中で人との関わりを持ち、その中で自己を発揮する。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現